



2019年11月1日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭
(TEL. 03-6300-6335)

2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2020年3月期第2四半期累計期間において、2019年4月26日に公表した2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2020年3月期第2四半期(累計)個別業績予想値と実績値との差異

(2019年3月21日～2019年9月20日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,680 | △30 | △50 | △56 | △33.59 |
| 実績値(B) | 3,207 | △91 | △97 | △103 | △61.20 |
| 増減額(B-A) | △473 | △61 | △47 | △47 | |
| 増減率(%) | △12.9 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期) | 3,357 | △101 | △118 | △140 | △84.25 |

(注) 当社は、2018年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

差異の理由

主力の既存実店舗での天候要因や高額商材の落ち込みなどによる計画未達、EC部門の一部外部サイトで3か月半の休止を被った影響などにより、売上高は3,207百万円(計画比12.9%減)となりました。また、売上高未達分の売上総利益減少などが響き、営業損失は91百万円(計画比△61百万円)、経常損失は97百万円(計画比△47百万円)、四半期純損失は103百万円(計画比△47百万円)となりました。

通期の業績予想につきましては修正しておりません。当社の業績は年末・年始が最需要期であり、既存店舗が入店するショッピングセンターでの催事開催を最需要期に向けて追加実施することやスマホアプリ会員への情報発信と特典の積極的な活用などにより売上高の挽回に努めてまいります。

また、休止解除後は売上を戻しているEC部門で、商材確保による自社サイト及び外部サイトでの販売促進活動を強化するとともに、実店舗での中低価格帯商品の展開強化と主要ブランドの集中仕入・集中販売への取組みに加え、成長性、収益性の高いシートマスクをはじめとする化粧品卸部門の強化により通期業績の達成に努めてまいります。

以 上

※本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。